

忠臣蔵のトリロジー 完結

三部作

月刊
テラダニュース
題字：栗辻デザイン
2014/12
師走の風物詩
vol.22
TERADA
M:O:K:E:I



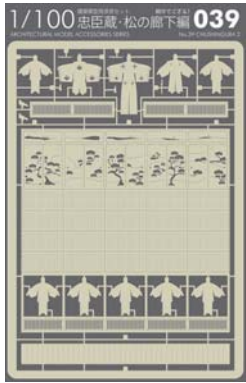
泉岳寺での一幕 吉良の首を内匠頭の墓前にそなえ、報告をする大石良雄と義士たち

今年も師走がやって来る。そして、テラダモケイの師走の風物詩「忠臣蔵」シリーズもいよいよ完結だ。そもそも設計事務所支援グッズだったテラダモケイが全く関係ない「忠臣蔵」に踏み外した(？)のは二年前、恐る恐るリリースした「討ち入り編」が反響を呼び、昨年の「松の廊下編」に続き、三部作完結と相成った。今回の「めぐりあい宇

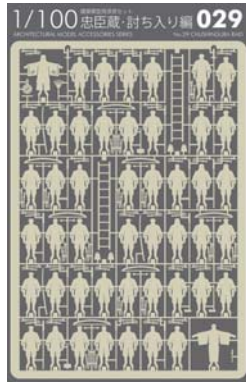
墓前に報告編

宙(そら)編」墓前に報告編」では泉岳寺の四十七士墓所の緊急取材を敢行。多くの人が参拝する墓前に線香を手向け、往事に思いを馳せての製作となった。「なぜ日本人は忠臣蔵が大好きか？論」を展開するのは別の機会に譲るが、己の責務を全うした達成感でいっぱいだ。12月14日にはあらためて墓前にこの三部作を供える予定。

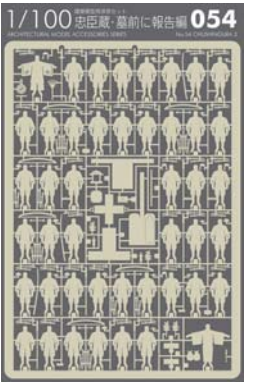
2013年12月発売No.39
殿中のごさるう～！
松の廊下編



2012年12月発売No.29
おのおの方 討ち入りでござる
討ち入り編



2014年12月発売No.54
泉岳寺へ
墓前に報告編



忠臣蔵トリロジー第1章
物語の発端となった、松の廊下の刃傷事件「殿中のごさる！」のシーンが1/100でよみがえる。慌てる茶坊主も収録。
収録：松の廊下、浅野内匠頭、吉良上野介、梶川与惣兵衛、茶坊主など
写真：益永研司



忠臣蔵トリロジー第2章
元禄15年12月14日。雪降る中、吉良邸へ向かう四十七士。緊迫した空気感をも模型化。吉良上野介の額の刀傷も1/100で完全再現。
収録：大石内蔵助以下四十七士、吉良上野介など
写真：益永研司



忠臣蔵トリロジー最終章
泉岳寺への緊急取材を敢行。物語のクライマックスを表現。感動の一幕。
収録：浅野内匠頭長矩の墓、義士たち(寺坂古右衛門、吉田忠左衛門、富森助右衛門を除く44名)吉良上野介の首など
写真：益永研司

げんき 0025
原器くん
作てられたなれき

「展示場所は「旅する」をテーマにしたコーナーの『ジャパニア』エリア。添景シリーズは一目で日本を感じさせてくれるプロダクトですね。」とお話してくださったのは、素敵な笑顔の小平遥さん。「デザイン性と精密さを兼ねた『ジャパニア』シリーズである添景シリーズは、欧米の方に人気があります。特に日本の建築やデザインが

今回は、イルミネーションきらめく六本木・けやき坂にある「TSUTAYA TOKYO ROPPONGI」にお邪魔しました。2014年3月にリニューアルをし、ライフスタイルを提案する東京の新スポットであると同時に、「紙でつくる」100の世界 テラダモケイの楽しみ方」の出版記念イベントをおこなった記念すべき場所です。そんなゆかりのあるお店さんでテラダモケイの今を伺ってきました。

お店を訪ねて
第15回 東京・六本木
TSUTAYA TOKYO ROPPONGI

小平遥(こだけいはるか)さん
お忙しいところお話をお聞かせいただきありがとうございます。
TSUTAYA TOKYO ROPPONGI
東京都港区六本木 6-11-1
六本木ヒルズ六本木けやき坂通り
営業時間 朝7:00～翌朝4:00
定休日 年中無休
電話番号 03-5775-1515



好きな方が、興味をもって見ていかれますね。」とお言葉も。
海外旅行の際は是非、テラダモケイという『ジャパニア』プロダクトをプレゼントに選んでみてはいかが？
(取材：金谷拓郎)

SLAMDUNK

湘北高校編・陵南高校編・翔陽高校編
海南大附属高校編・山王工業高校編
好評発売中



編集後記：忠臣蔵ももう終わりました。しかし、実は当初、四作目も考えていた。それは「切腹編」。しかし、リサーチを進めていくとだんだん辛くなってやめる事にした。やはり忠臣蔵は涙なくしては語れない。